



「第3回環大コンペ」の結果について

大学生活の向上あるいは地域社会へ貢献する、優れた企画を実施する学生団体に「鳥取環境大学を支援する会」より賞金が贈呈されました。

10団体13企画の申込のあった「第3回環大コンペ」。主催者の「鳥取環境大学を支援する会」による第二次面接審査の結果、以下のとおり入賞5団体が決定！ 贈呈式は11月15日、本学理事

Good project!

Congratulations

★ 第1位 ★ 賞金20万円

「日本列島を軽くしよう!」

学生ISO委員会

代表者：足立雄平 他、計10名

本学の学生・教職員及び、全国各地の環境団体が「同日同時刻」に各地域で清掃活動を行い、正午ちょうどに拾ったゴミを持って一斉にジャンプすることで、清掃活動に一体感を持ち、今後の環境活動の活性化・意識向上のきっかけ、並びに環境団体同士の繋がり作りに

★ 第2位 ★ 賞金10万円

野菜のことならMAB(マブ)

中山間地域応援隊MAB

代表者：近藤侑子 他、計7名

農家の所得向上、地産地消の流通チャンネル、街の活性化、を目的とする学生による産直市。

Good project!

★ 第3位 ★ 賞金5万円

10代の組み込みシステム開発体験教室
マイコンカラー部(鷲見研究室後援)

代表者：坪内康恵 他、計12名

鳥取県産業の中心となっている電気電子・機械産業の、簡易な組み込み系ソフトウェアを10代参加者に体験・体感してもらうことを通し、「悩む」で

★ 第4位 ★ 賞金2万5千円

「環境サミット'次代」

次世代会議(代表者：稲見唯睦 他、計6名)「持続可能な社会に向け、私たちは次の世代、時代に何を残すのか？」をテーマに有識者、市長、市民、学生がそれぞれの視点から話し合うこと、また講演会を実施することにより、10年先の地域社会、私たちのあり方を考えるきっかけ

★ 第5位 ★ 賞金2万6千円

「ラジコンヘリコプターシミュレーション体験教室」
JAVA研究会(鷲見研究室後援)(代表者：坪内淳美 他、計13名)小中学生を対象に、ヘリコプターの仕組みの理解、コンピュータシミュレーションでの操縦体験、実機でマスターする体験、を通し「仮想」と「現実」のギャップの理解をはかることを目的とする。

申込企画

「環境に優しい商品を購入することで社会を変えよう!Vol.2」
グリーン購入研究会(代表者：笠季実子 他、計11名)
鳥取の環境に優しいお店・商品を学生・地域の人知ってもらい、グリーン購入への理解を深め、今後の生活に役立ててもらうことを目的とする。

「スポーツ大会」

クラブ役員会(代表者：城島正樹 他、計5名)

スポーツを通して、日頃ふれあうことの少ない他学科、他学年の学生同士、教職員が交流を深め、繋がりを広げることにより、大学の活性化に繋げていくことを目的とする。

「写生大会 - 絵を通して自然を知ろう -」

美術同好会(代表者：植田佳苗 他、計16名)

若葉台小学校の子供達と自然に関するものを題材に写生を楽しむことを通し、身の回りにおける自然環境を知り、

興味を持ってもらうことを目的とする。

「美-Dash」

美術同好会(代表者：植田佳苗 他、計16名)

本学の芸術系団体が共同出展し、絵画・書道・写真・立体・工芸等の展示会を行い、学内や地域の方に鑑賞して頂き、交流の輪を広げる。

「第3回わかば工房」

エコえん(代表者：青山聡太 他、計11名)

地域の方に協力してもらい、手作りのリサイクル品、卒業生がつくった野菜とお米、工芸教室、の3つのブースを大学祭で提供し、地域コミュニティの活性化を目指す。

「模擬店コンテスト」

環謝祭実行委員会(代表者：小山瑠子 他、マーケット班計5名)

大学祭で例年以上に模擬店出展者が多いことを生かし、

来場者の投票による、見た目、味、サービス、エコロジー貢献度、を審査することで、大学祭の持続的な活性化を目指す。

「食いしん坊バンザイ!」

環謝祭実行委員会(代表者：小山瑠子 他、イベント班計6名)

大学祭来場者全員にスタンプラリーカードを配布し、全模擬店・各展示施設に足を運んで貰えるように、またイベントと連動することで一体感を持ち、大学祭を盛り上げていくことを目的とする。

「No.1をねらえ」

環謝祭実行委員会(代表者：河島歩 他、イベント班計5名)

本学、環境問題に関わるランキング問題(5択、5問)を大学祭来場者に出題し、正解者には賞品を進呈する。

学生のみならずへ

今回惜しくも僅差で落選した企画も、素晴らしい可能性を秘めています！企画は1回きりでなく、継続して実施することに意義があります。最初は小さな芽かもしれない企画を、徐々に膨らませ、輪を広げ、大きく育てていってください。そして、来年も是非、ふるって応募を!

手話講座

手話教室を学生・教職員向けに開講しました。

聾学校を退職された先生に講師として来て頂き、週に一度15週、1回あたり90分、指文字から簡単な会話までを練習しました。参加者は学生が約20名で教職員が約10名でした。参加者からは、『授業の内容が面白い』と好評で、来年度も開講する予定です。その他、夏休みにはパソコン要約筆記講座が開催され、学生の10名程度が参加、うち7名が実際の授業の中でパソコン要約筆記を



今後もこういった講座を開講し、質だけでなく量も高めていきたい。(加藤事務局次長)